

理事会議事録

日 時：2004年1月10日(土) 11:00～16:00

場 所：国立天文台大会議室

出席者：松田，祖父江，若松，杉山，郷田，関井，松原，蜂巢，土橋，土居，田，谷口，栗木，佐藤

欠席者：花見

有効委任状提出者：なし

ほかに，東條事務長が参加した。

議事に先立ち，署名人を選出した

議 長：松田卓也

署名人：杉山 直，郷田直輝

報 告

1. 前回議事録の確認（資料1）

杉山理事より前回（2003年9月25日）の理事会議事録が報告され，原案どおり承認された。

2. 今後の年会について

名古屋大学がホストとなる2004年春季年会について，佐藤理事から準備状況について報告があった。ポスター会場についても，十分な数および広さがあることが確認された。土居理事より，申し込まれた講演数は597で過去最高を更新したとの報告があった。2007年秋季年会について，岐阜大学より開催希望の立候補があり，補足資料に基づいて若松副理事長が事情説明を行った。

3. 「回転サーチライト等禁止の法制化についての要望書」（資料2）

小池百合子環境大臣宛標記要望書を，2003年12月11日に松田理事長，祖父江副理事長，若松副理事長，杉山庶務理事が環境省に持参し，西尾哲茂環境管理局長に手渡した経緯と，その際の懇談について，杉山理事より説明があった。松田理事長から補足説明があり，祖父江副理事長からは，高速道路の上向き照明についての懸念が出された。

4. 創立100周年記念出版事業編集委員会

祖父江副理事長より，標記編集委員会の活動報告があった。2003年11月29日，第2回の編集委員会が開かれ，日本評論社を出版社として選定した。また，全15巻の内容のすり合わせを行った。各巻の内容案については，まもなくweb上に公開し，広く会員にアンケートを求める予定である。

5. その他

(1)2004年秋年会公開講演会について

田理事から，「天の川を旅する21世紀の銀河鉄道」というタイトルの講演会を行う予定であり，郷田直輝，真鍋盛二の両氏に講演を依頼したとの報告があった。

議 題

1. 2003年度事業報告書案(資料3)

2003年度事業報告案を杉山理事が説明し，質疑応答の後，同報告書案は承認された。

2. 2003年度決算報告書案（資料4）

2003年度決算報告書案を関井理事が報告し，質疑応答の後，報告書案は承認された。

その後、今後の予算の立て方などについて意見交換を行った。

3. 2003年度監査報告（資料5）

2004年1月7日に実施された監査の結果、上記事業報告案および決算報告書案が正当であると認められたことを監事の代理として杉山理事が報告し、理事会としても了承した。

4. 特別会計の基金化（内地・研究奨励・早川・林・記念出版）に関する内規の制定について（資料6）

関井理事より内部留保金（適切な使途が定まっていない部分）が非常に高い水準になっていることが、文部科学省の担当官から問題とされた点についての説明があった。しかし、これは見かけの問題であり、実際には適切な使途が決まっている特別会計が内部留保に含まれているために、形式的に高い水準になってしまっている。特別会計を内部留保からはずすためには、内部規程を整備し、これらを基金とする必要がある。このことについて、意見交換を行い、次回の理事会までに関井理事が原案を作成することとなった。

5. 新入会員の承認（資料7）

杉山理事より、資料に基づき、新規加入者の紹介があり、承認された。

6. 天文教材小委員会の名称について（資料8）

2003年9月26日に行われた総会での議論に基づき、標記小委員会の名称について検討を行った。「日本天文学会委員会等に関する共通内規」の定めるところによれば、天文教材小委員会の名称（小委員会）は適切なものであり、一方、創立100周年記念出版事業編集委員会は創立100周年記念出版事業編集小委員会という名称とすべきという結論に至り、評議員会に提案することとなった。

7. その他

(1)2007年秋季年会について、岐阜大学がホストとなり開催することが認められた。

(2)次回以降の日程

次回の理事会は、春季年会中の3月22日（月）昼休み、次々回は7月3日（土）、国立天文台で行うこととなった。

2004年1月24日

議長 松田卓也

署名人 杉山 直

署名人 郷田直輝